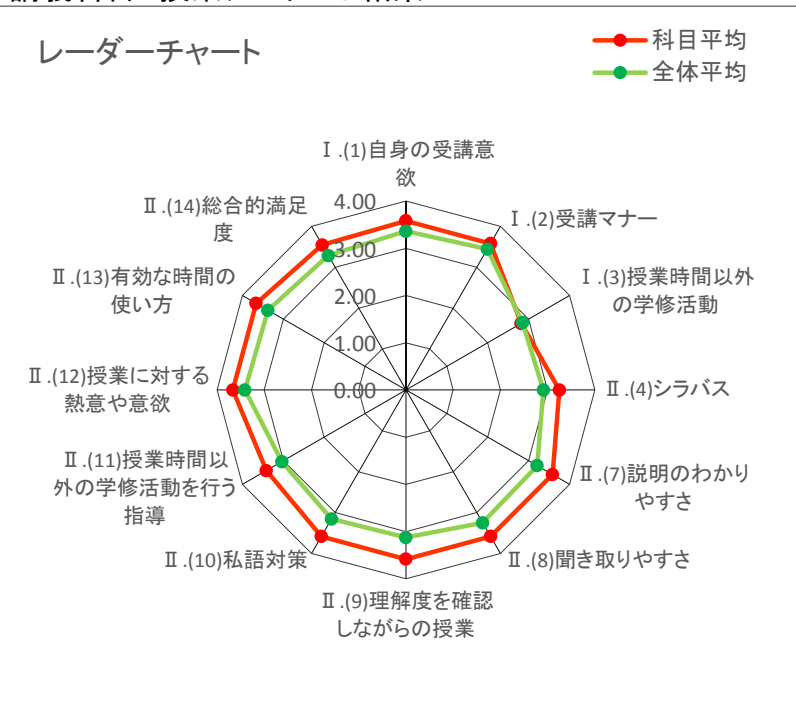
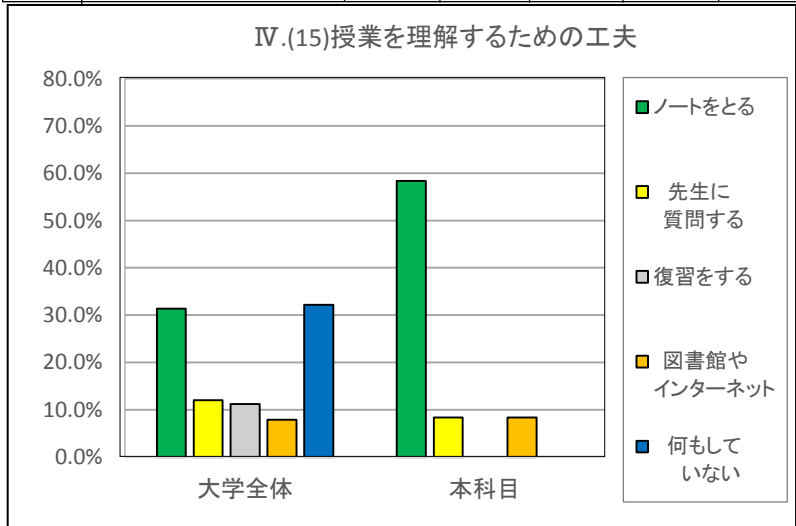


講義科目 授業アンケート結果



※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2、(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

〈※複数選択可項目〉	ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(15) 授業を理解するための工夫	58.3%	8.3%	0.0%	8.3%	0.0%



	設問No	科目平均	全体平均
受講姿勢	I.(1)	3.58	3.36
	I.(2)	3.58	3.45
	I.(3)	2.82	2.86
受講内容・方法	II.(4)	3.25	2.91
	II.(5)		
	II.(6)		
	II.(7)	3.58	3.21
	II.(8)	3.58	3.25
	II.(9)	3.58	3.13
	II.(10)	3.58	3.16
	II.(11)	3.42	3.04
	II.(12)	3.67	3.41
	II.(13)	3.67	3.37
満足度	II.(14)	3.55	3.29

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢		
I.(1)~(3)	3.33	3.22
講義内容・方法		
II.(4)~(13)	3.54	3.18
総合的満足度		
III.(14)	3.55	3.29

アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2015年度 前期
時間割番号	13304
科目名	マクロ経済学 I
教員名	

①授業計画の達成度について
 経済学アレルギーを払拭する効果を期待して、形式的なモデルの説明だけでなく、モデルが生み出されてきた歴史・背景、モデルが活用されている現状を盛り込むことにした。また経済思想的な事項にもかなりの程度言及した。こうした工夫により、授業計画の一部での未達成を生じたが、トータルとして受講生の関心を引き出し、理解を促進させるという点でよい結果が得られたと考えている。

②授業の進め方について
 できるだけ、前回の復習、主題の提示、前回との関連の説明、本論の展開、関連事項の説明、まとめ、の順番となるように授業を行った。学生の協力的な授業参加が得られた。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について
 昨年度に比べて、授業実施時の学生の反応が改善しているように感じた。これは、単に形式的なモデルの操作を説明するだけでなく、モデルが生み出されてきた歴史・背景、モデルが活用されている現状、経済思想的な事項に言及することによって、マクロ経済学の背景についても重点を置いた結果であったと考えている。今後は、学生が関心を持って、授業以外の学習時間を確保できるような工夫を行いたい。